



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

# みしよ

No. 365

令和7年8月26日（火）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141



## 学ぶことはワクワクするもの

校長 後藤 正美

夏休み中に、見附市主催の「わくわく体験塾」が行われ、様々なイベントへ子供たちが参加していました（写真左）。何事にも意欲的な子が多いこと、これも見小の自慢の一つです。ボランティア、係活動、新たなイベント企画など、やってみようとチャレンジする起業家精神が、一步一步育っています。校歌に「みがく智徳の楽しさよ」とありますが、学び合って自分を伸ばすことが大切。子供でも大人でも、自らの意思で学ぶことは、本来ワクワクするものだと思うのです。

さて、10月18日（土）に「N-WAKU (エヌワク)」という研修会が、見附小学校を会場に行われます。これは、よりよい授業を作りたい教員が、新潟市を含む県内各地から主体的に集まり、「新潟を、教育をワクワクさせる」授業を企画し、公開しているものです。今回が5回目。中越地区では初めての公開となります。

子供たちが授業で見せる満足そうな表情、私たち教員にとってこれこそ最大の喜びであり、やりがいです。県内各地で実践している教員が集い、見小っ子を相手にどんな授業に挑戦するのか。見小っ子はどんな反応をするのか。私たち職員も主体的に参加し、今後の授業づくりに生かすきっかけにしたいと考えます。

本来の授業日ではない週休日ですので、子供たちの参加の有無は自由です。希望する子は、公開する1時間の授業にだけ参加することになります。もちろん貴重な機会ですので、保護者の皆様の参加・参観も大歓迎です。こうした研修会は今年限りですので、子供たちの積極的な参加を期待したいです。

日程等の詳細は、公開授業の学年が決まり次第、全校にご案内いたします。「N-WAKU」のホームページもありますので、ご参照ください（二次元コード等参照）。

全国的には教員の不祥事ばかりが報道され、何とも腹立たしいのですが、教員の多くは志をもって、誠実に勤務をしています。授業こそ教員の本務。見附小は、2学期も全職員で子供たちを育てていきます。



<https://sites.google.com/view/n-waku/home>